

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 611 2018年 9月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

みんなでリハビリいき笑顔

総合リハビリテーション科



リハビリテーション部 総合リハ課 主任 理学療法士 池田 真理子

地域包括ケア病棟・集団リハビリテーション『いきいきMAN』

2018年4月から当院3階・地域包括ケア病棟にて、集団リハビリテーション「いきいきクラブ」を開始しました。住み慣れた地域へ帰るために集団でリハビリを行い、また生活に即した個別リハビリを支援させていただいております。それらの役割について説明いたします。

地域包括ケア病棟とは

当院の地域包括ケア病棟は、2015年7月からスタートしました。現在は49床全床の地域包括ケア病棟で、リハスタッフは理学療法士4名(うち専従1名)、作業療法士2名、言語聴覚士1名の配置となっています。

病棟と協力し心身ともに在宅復帰へ

当院では、セラピストと患者さんの1対1の個別リハとして、筋力トレーニングや歩行練習などの身体機能に対する介入以外に、病棟スタッフと協力して在宅生活をイメージした日常生活訓練を行っています。在宅復帰を実現するために、その方にと

病棟デイリウムで週2回

集団リハは毎週火曜日と金曜日の週に2回、午後13:40~14:40、当院3階病棟のデイリウムにて、約7名前後の患者さんとセラピスト2名体制で送迎も含めて様々なプログラムを行っています。対象となる方は、病状によりベッドから起き上がる機会が少ない方、身体機能が維持できず、心身機能を維持・向上できるようにプログラムを随時考えていきます。

人に合わせプログラムを考える

プログラムの内容は足踏みや腕の体操などの身体機能を維持・向上する内容のほかに、飲み込みや発声がよくするための嚥下体操や月ごとに変わる季節の歌の合唱、患者さん同士の交流が楽しめる作品作りや風船パレーなどのアクティビティを行っています。今後は連続して出席される方も飽きがなく、心身機能を維持・向上できるようにプログラムを随時考えていきます。



輪になって棒体操。肩甲骨を柔軟にする体操



東館連絡通路 病室とデイリウムの間を送迎するスタッフ。2組がデイリウムに向かう様子



リハスタッフ手作りの看板。いきいきとした人生を歩まれる様にと願いを込めて靴の小物をあしらいました



七夕に患者さんがつくった天の川の作品。足踏みや腕の体操などの身体機能を維持・向上する内容のほかに、飲み込みや発声がよくするための嚥下体操や月ごとに変わる季節の歌の合唱、患者さん同士の交流が楽しめる作品作りや風船パレーなどのアクティビティを行っています。今後は連続して出席される方も飽きがなく、心身機能を維持・向上できるようにプログラムを随時考えていきます。

千駄の萱

全国で記録的な猛暑と豪雨が続いた八月。続く九月は沖繩で熱いたたかいが待っている。▼四年前「沖繩に新基地はいらない」と掲げてオール沖縄で県知事に当選した翁長雄志氏の急逝。お悔やみを申し上げる▼今年の原水爆禁止世界大会では大会初参加のオール沖縄代表が発言した。県内十七分の土地が基地として「占領されている」と▼発言では「辺野古」の問題点は三つある。①一九四四年に旧日本軍によって土地をすべて踏みじられ接収されて、十五の飛行場ができた。以降、手続きを踏んで建設される初めての基地が辺野古。②建設費用はすべて日本の税金。③断層が走り、また柱を立ててもマヨネーズのようにズブズブと沈んでしまう地盤であり、何兆円かけても足りない、と▼知事の逝去を受けて安室奈美恵がコメントを出した。「沖繩の為に尽くしてこられた翁長知事のご遺志がこの先も受け継がれ、これからも多くの人に愛される沖縄であることを願っております」▼私たちは自分たちの問題として新基地建設をさせないために行動を始めよう。